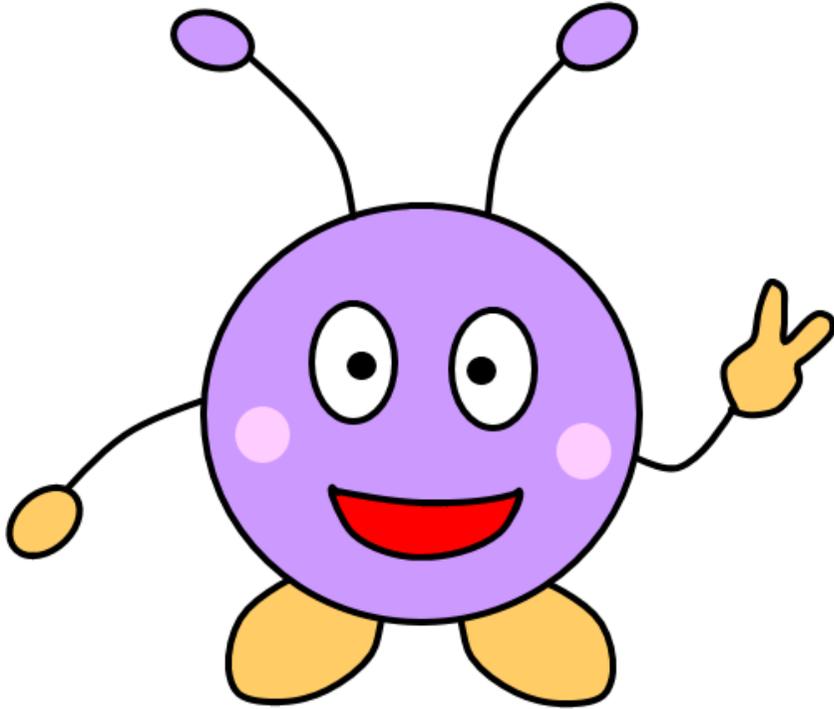


しゅじんこうしょうかい
主人公紹介



ういるすん

“ういるすん”はどんなことが起きても

「すべて、よかった！」

がくちぐせのちょう超ポジティブシンキング

じぶん こんしょく さが ぼうけんたびで
自分の魂職を探す冒険の旅に出ます。

はじめにういるすんは、^{じぶん}自分が^す住んでいる^{まちぜんたい}街全体を
^{みわた}見渡せる^{おか}丘に^い行きました。

そこでかわいい女^{おんな}の子^こに出会^{であい}いました。



かのじよ なまえ
彼女の名前はろんえちゃん

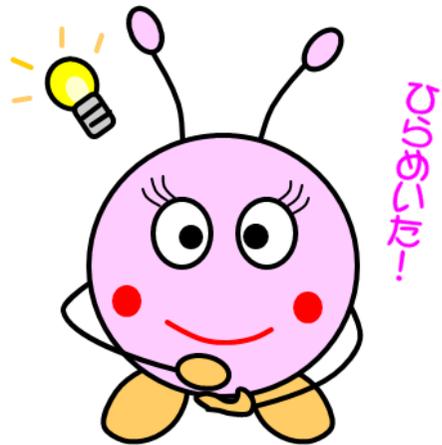
いま
今までにないアイデアをうだみ出すことがお仕事。

かのじよ おも
彼女はいつも思っています。

よ なか よ
「もっと世の中が良くなる

アイデアはないかしら？」

ひと しあわ ほうほう
「もっと人が幸せになる方法はないのかしら？」



こんしょく
魂職 その1

ろん え そうぞう はつめい せいじ が
侖江 = 創造、発明、アイデア、聖慈家

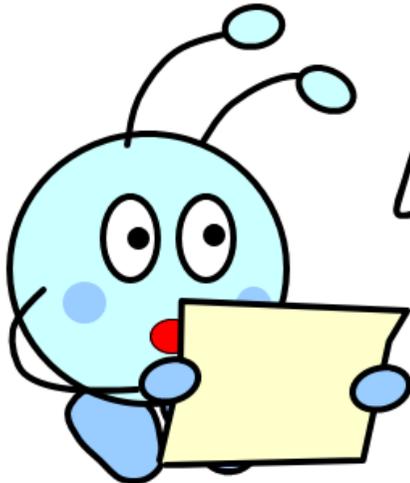
ろんえちゃんのアイデアを

いっしょうけんめい き ひと
一生懸命、聞いている人がいるよ！



はなし
なんの話かな？

すごいアイデア！
さっそくかいほう
早速開発だ！



はろくん



こうしたら
どうがしら？

ろんえちゃん

はろくんのお仕事は

ひと よろこ しがと
人が喜んだり、世の中が楽しく明るくなるようなアイ
はつめい つか かみ
ディアや発明を、みんなにも使ってもらえるように紙
か ぎじゅつ かいはつ
に書いたり、技術を開発したりすることです。

はろくんは言います。

み み せつけい
「見えないものを、みんなにも見えるように設計を
きかく だいす
したり、企画するのが大好きなんだ！」

こんしょく
魂職 その2

はろく ぎじゅつかいはつ きかく せつけい
羽録 = 技術開発、企画、設計

ういるすん^{まち}は街をはなれ^{やまおく}山奥を^{たんけん}探検しています。

すると、^{そうがんきょう} 双眼鏡^も を持った^{ひと} 人^{あら} が現れました。



かれ なまえ
彼の名前は、**かんかん**

よ なか かんきょう
いま世の中の環境がどうなっているか

しょくぶつ どうぶつ かんさつ し しごと
植物や動物たちを観察して知ることがお仕事。

かんかんは言いました。

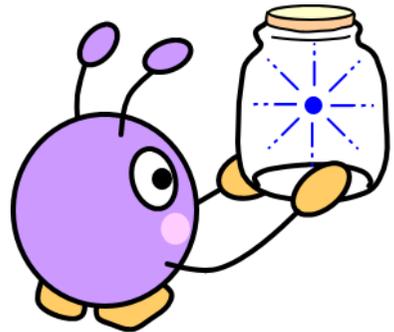
にんげん だいしぜん し
「人間は大自然のことを、なにも知らない。」

ういるすんには意味がわかりません。

かんかんは

ぶっしつ まち こうじょう
「この物質を、街の工場までとどけて。」

と、ういるすんに手渡しました。



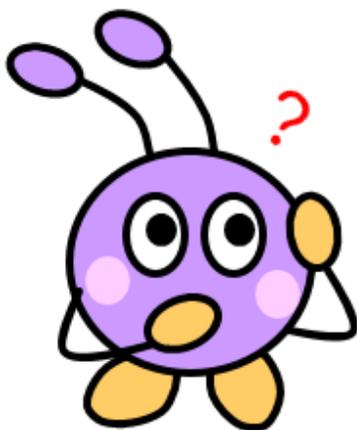
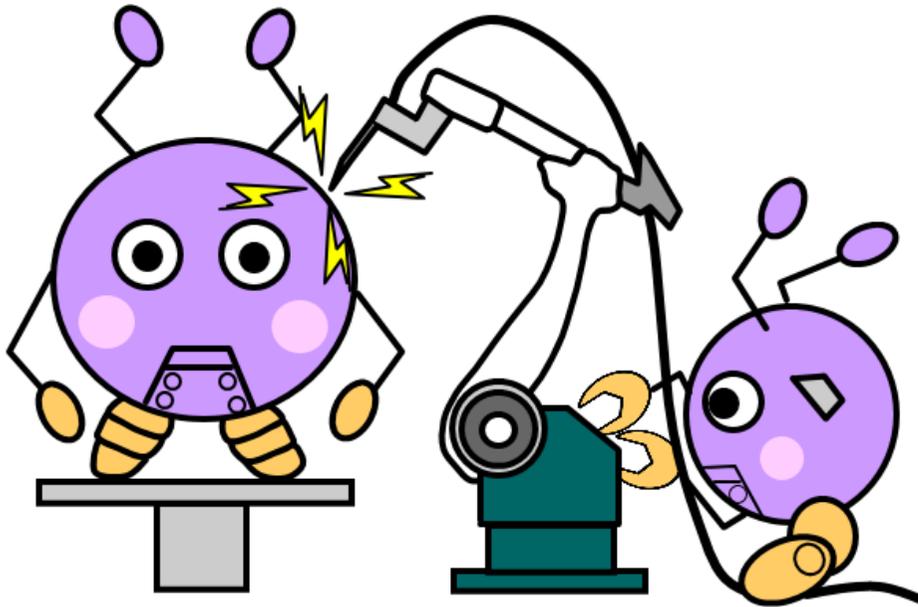
こんしやく
魂職 その3

かん かんきょう どうしょくぶつ げんりょう しうれ
カン園 = 環境(動植物)、原料、仕入

※ **園** 最初のカンはこの漢字です。

ういるすんは、^{まち} 街の ^{こうじょう} 工場に ^い 行きました。

そこでは、ロボットたちが ^{はたら} 働いています。



にんげん
人間は
はたら
働かないのかな？

ちか　みらい　　いま　　にんげん　　しごと
近い未来では、今まで人間たちがしていた仕事を
すべ
全てロボットたちがやってくれます。

では？にんげん　なに
人間は何をするの？



ういるすんは ^{あたま}頭をかかえています。

ひと はな ごえ
人の話し声がしたので、ういるすんは声のする方へ
い
行きました。

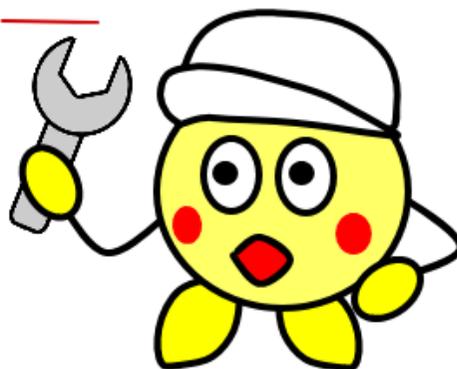
そこでは、はろくんともくぺいが^{はなし}話をしているよ。



はろくん

せつけいず み
この設計図を見て
つく
作れるかな？

つく
作るよ



もくぺい

ロボットたちが^{はたら こうじょう こうじょうちよう}働く工場の工場長、

かれ ^{なまえ}彼の名前はもくぺい。

もくぺいはアイデアを^{かたち}形にして^{つく あ}作り上げることが
^{しごと}お仕事です。

もくぺいはういるすんに^い言いました。

「^{つく だ}“ない”から“ある”を作り出すこの仕事は
^{さいこう たの}最高に楽しいのさ！」

ういるすんはさらに^{あたま}頭をかかえています。

「^{なに}何もないところから^{なに で き}何か出来るの??」

^{こんしよく}魂職 その4

もくぺい ^{せいさく せいぞう}目皿 = 製作、製造、システム

ういるすんはもくぺいに、かんかんに頼まれた

「物質」を渡しました。

もくぺいはその物質を見て大喜びです。

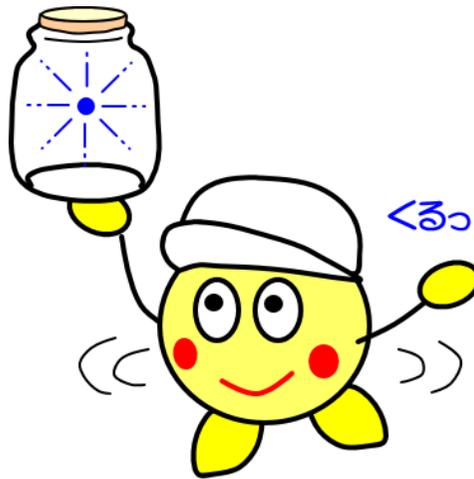


もくペいはうれしそうに言いました。

「これで、今までだれも見なかったことが
作れるよ！」

「世の中はもっと住みやすく、そして、

人々がもっと幸せになれるよ！！」



「もう少し広い工場と、人のエネルギーが必要だ。

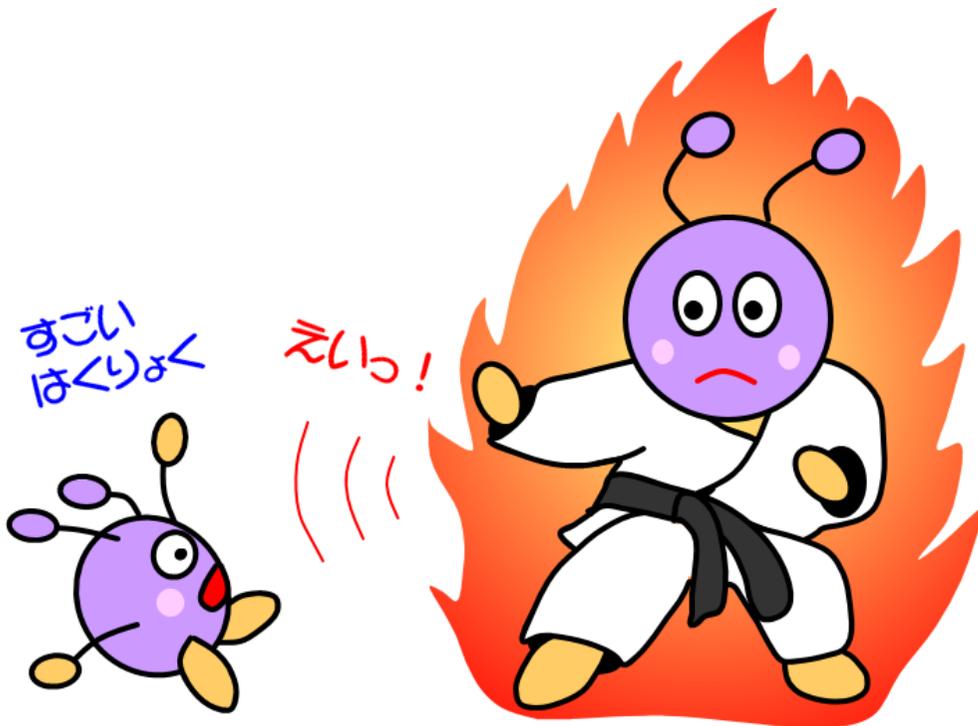
ういるすん、街の中を探してみて。」

“^{ひと}人のエネルギー？”

ういるすんは、ふたたび^{まち たんけん}街を探検します。すると

「えいっ！」「やあーっ！」

^{こえ}と声がします。



かれ なまえ
彼の名前はりろくん

ひと だ まね
「人が出すエネルギーは、ロボットには真似できない
んだよ！」

ぶどう あいて たお じぶん い
「武道とは相手を倒すためのものではなく、自分を生
かし相手を生かすものなんだ。」

おも
ういるすんは思いました

ひと
「これが人のエネルギー…」

ちょっとだけ
できた…



こんしよく
魂職 その5

りろく にくたいろうどう ちからしごと ぶどう
里刃＝肉体労働、力仕事、武道

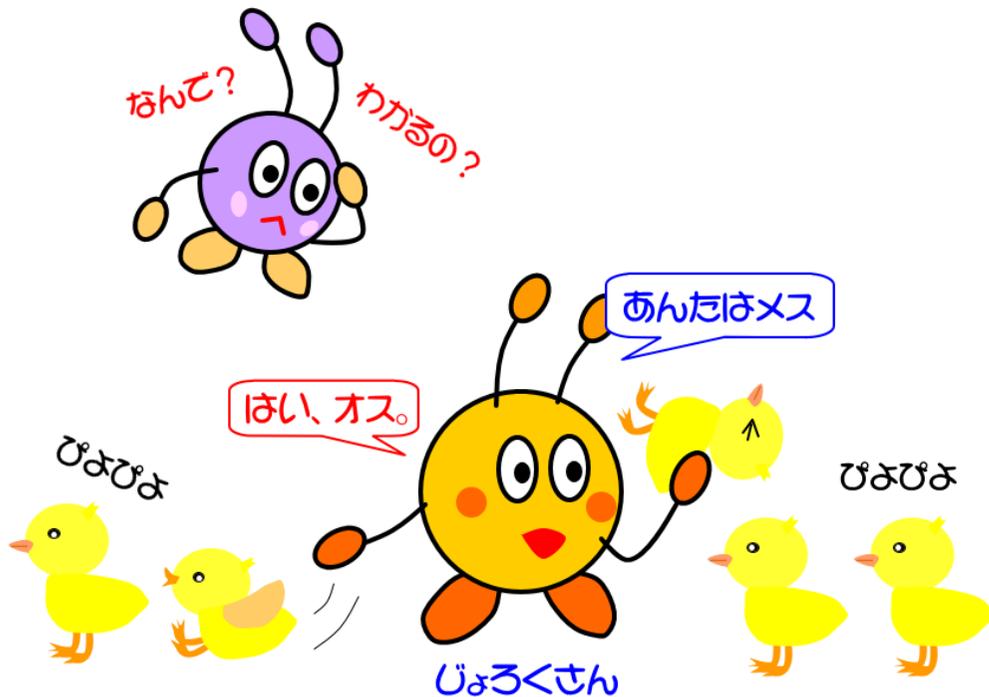
さらに^{まち ある}街を歩いていると

「ぴよぴよ、ぴよぴよ、ぴよぴよ・・・」

ヒヨコの声と^{こえ いっしょ}一緒に^{だれ}誰かの^{こえ き}声も聞こえるよ。

「オス、メス、オス、オス、メス、オス、メス・・・」

なにをしているんだろう？



かのじよ なまえ
彼女の名前はじよろくさん

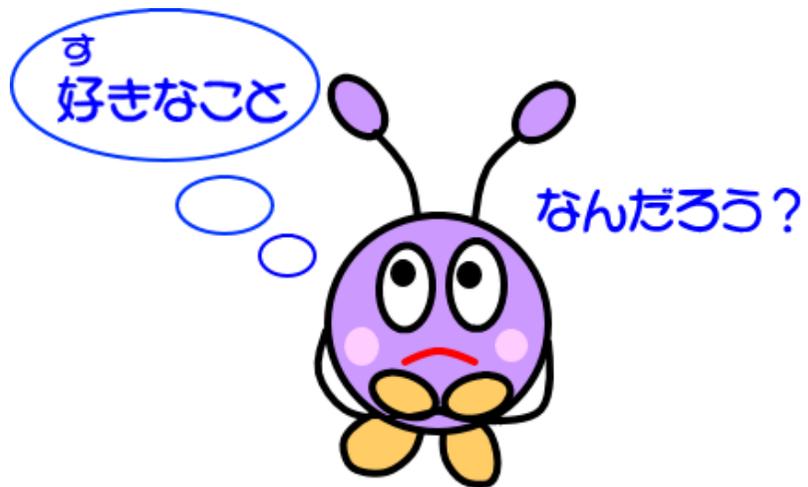
たんじゅん さぎょう つづ しごと
単純な作業を続けることがお仕事です。

じよろくさんは言います。

たんじゅん れんぞく さぎょう だいす
「わたしは単純で連続する作業が大好きなの。

いちじゅう あ つか
1日中やっても飽きないし、まったく疲れない
わ。」

す たの
「好きなことをやるって楽しいよね。」

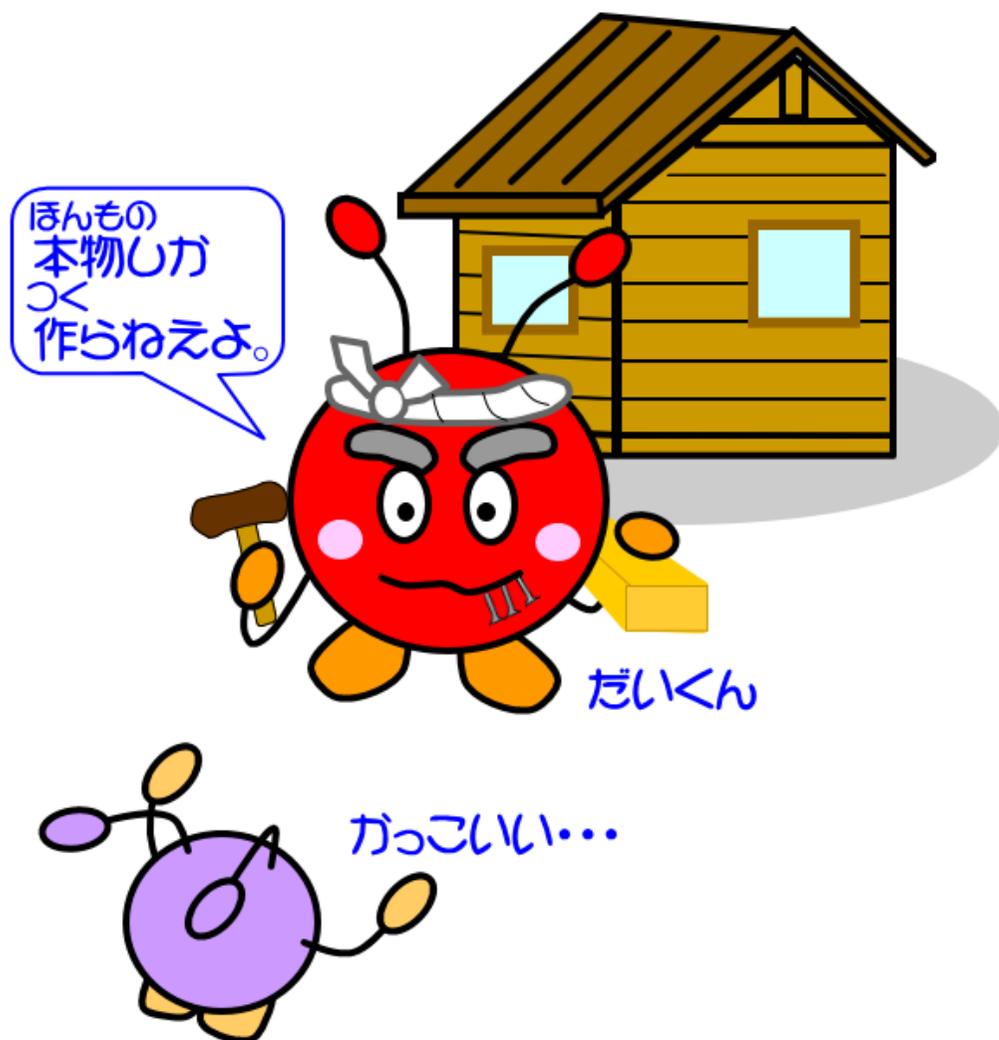


こんしょく
魂職 その6

じよろく たんじゅんさぎょう れんぞくさぎょう しゃいん
女六 = 単純作業、連続作業、社員

「トントン、カンカン、トントン・・・」

こっちでは^{もくざい}木材で^{いえ}家を^{つく}造っているみたい？



かれ なまえ
彼の名前はだいくん

ロボットにも真似できない匠の技で、ひとりひとりに
あ つく
合ったものを作るよ。

いえ つく
家を造りながらだいくんは

き いえ こきゅう す
「木でできた家は呼吸しているんだ。そこに住んでい
ひと かいてき いっしょうけんめい
る人を快適にさせようと一生懸命なのさ。」

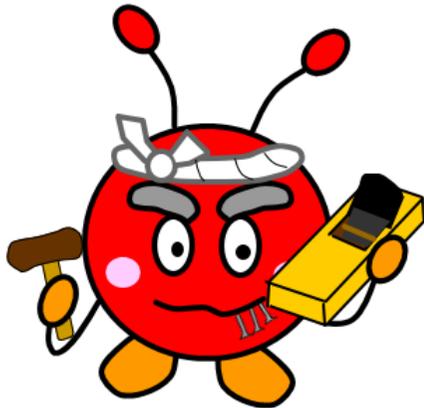
ういるすんは、木でできた家の中で包まれるような
あんしんかん かん
安心感を感じました。



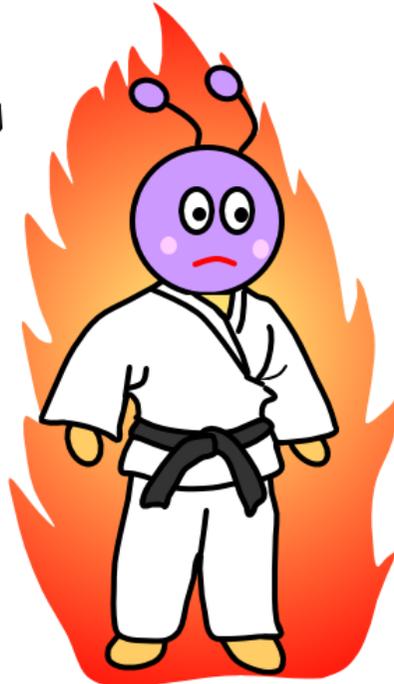
こんしょく
魂職 その7

げいのう とくしゅぎじゅつ けんちく けんちく
藝能＝特殊技術、健築(建築)

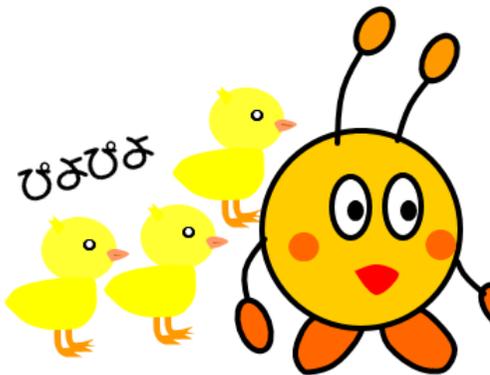
ういるすんは ^{にん}3人 ^{こうじょう}を工場 ^つに連れて ^いて行きました。



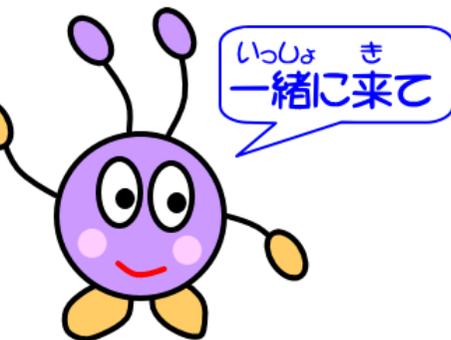
だいくん



りろくん

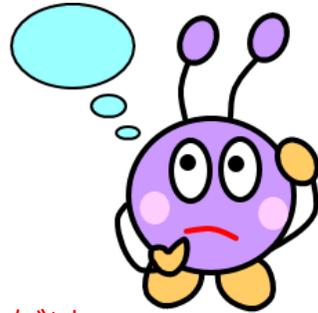


ひよろくさん



もくペいは^{おおよろこ}大喜びで3人^{にん}に仕事^{しごと}を手伝^{てつだ}ってもらって
います。

ひとりになった^ういる^{すん}は^{であ}出会^{ひと}った人たちのこと
を^{おも}思^だい出します。



^{であ}「出会^すったみんなは好きなことだけ、

^{とくい}得意なことだけをしている。」

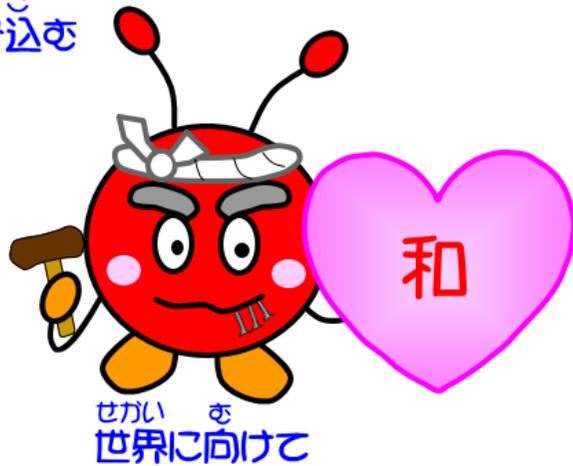
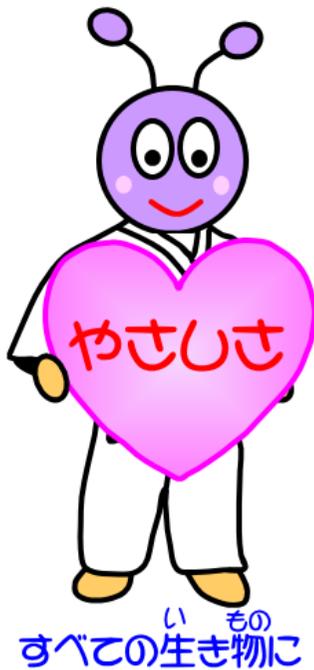


「そうか！^{こんしょく}魂職^{って}

^ず“好き”^{つつ}をやり続けることなんだ！」

「ういるすん！みんなのおかげですばらしいものが

できあ
出来上がったよ！」



もくペいは^{あせ}汗を^ふ拭きながら^い言いました。

「^{いま}今まで^{だれ}誰も^め目^みで見たことはないけど

^{むかし}みんな^し昔から知っているものだよ。」



「^{つつ}すべてを^こ包み込む^{あい}愛。」

「^{せかいじゅう}世界中に^{ひろ}広がる^{へいわ}平和の^{こころ}心。」

「^いすべての^{もの}生き物に^{たい}対するやさしさ。」

「さあ！^{さっそく}早速街へ^{とど}届けよう！」

“ロボットたちが全自動運転の車で運ぶのかな？”

ういるすんがそう思っていると、そこにトラックに乗ったゆゆくんが現れました。



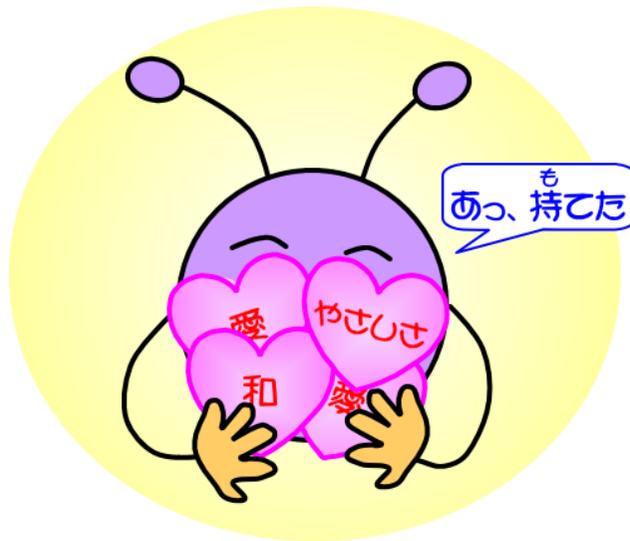
ゆゆくんは「愛」「和」「やさしさ」を丁寧にトラックに載せて街へ向かって行きました。

もくペいは^い言いました。

「^{つく}ぼくたちが作ったこれらすべてのものは、

^{にんげん}人間じゃないと^{はこ}運ぶことができないんだ。」

「^{こころ}心のエネルギーで^{つつ}包み込んで^こ丁寧に^{ていねい}運ぶんだよ。」

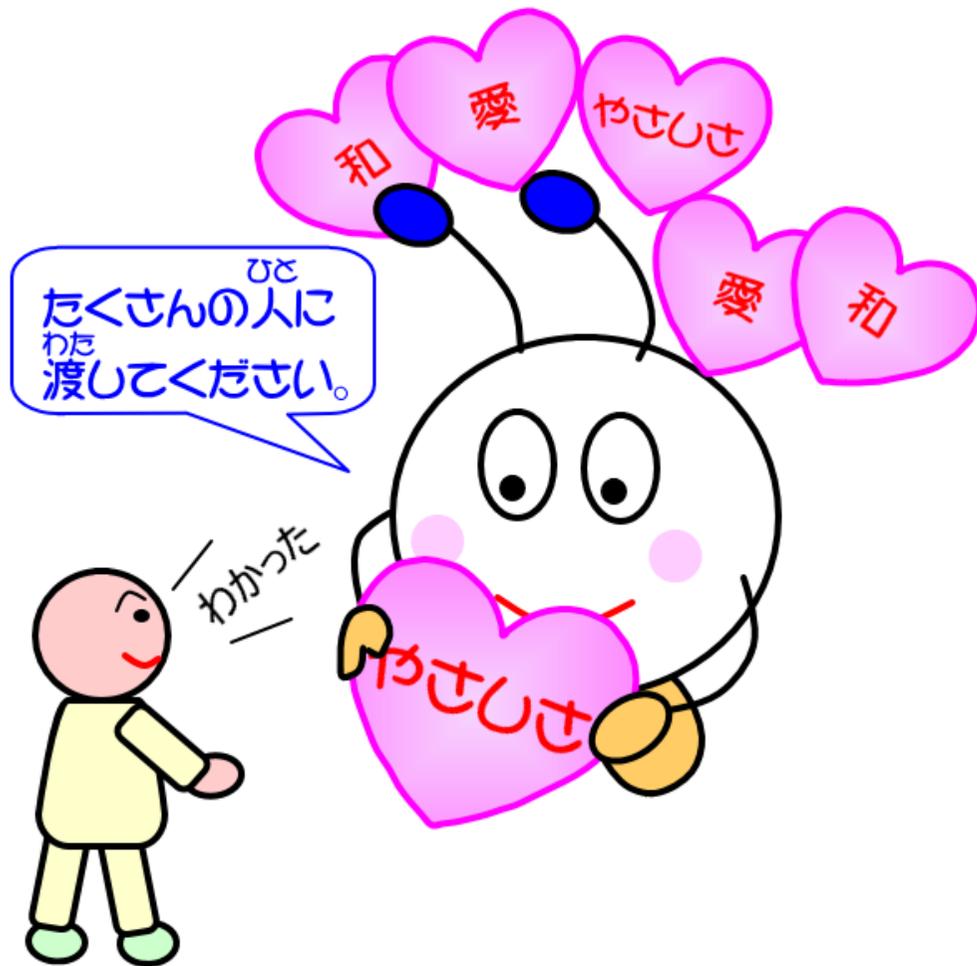


こんしよく
魂職 その8

ゆ ゆ うんそうぎょう うんてんしゅ つうしん
輸瑜 = 運送業、タクシー、運転手、通信

ういすんたちも、^{まち}街へ向かいました。

^{まち}街に着くと、^{だれ}誰かが「^{あい}愛」「^わ和」「やさしさ」をみんなに
^{くば}配っているよ。



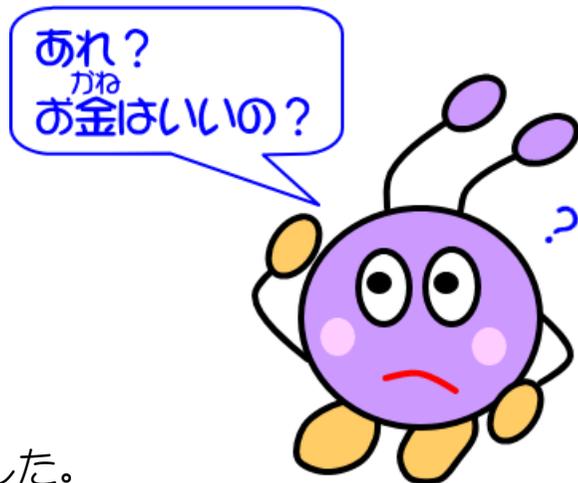
かれ なまえ
彼の名前はろんれつ

ひとびと ほんもの わた よ なかぜんたい かね もの なが
人々に本物を渡して、世の中全体のお金や物の流れ

ただ しごと
を正しく、きれいにするのがお仕事。

ほんもの よ なか なが よ なかぜんたい ほんもの
「本物を世の中に流せば、やがて世の中全体が本物

になるんだよ。」



ろんれつは言いました。

もの かち ねだん つか ひと き
「物の価値や値段は使った人が決めるんだ。」

まだういるすんには理解できません。

こんしょく
魂職 その9

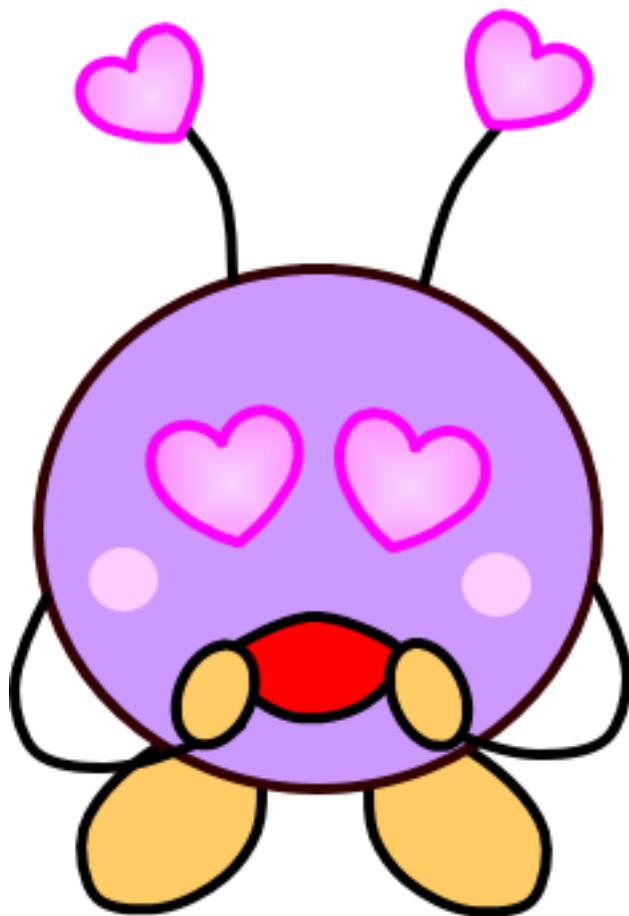
ろんれつ かんりょう ちょうさ
掄列 = 官僚、調査、セールス

ういるすんは^{さいしょ}最初^いに行^{おか}った丘^{うえ}の上^いに行^{まちぜんたい}き、街全体を
み
見てみることにしました。



「うわ～、

まちじゅう ^{あい} 街中が愛とやさしさと和 ^わ の ^{こころ} 心でいっぱいだ。」



すべての人が好きなことをしながら生活している

「愛」と「やさしさ」に溢れた「平和」な世界。

ういるすんは^い言いました。

「^{こんしょく}ぼくの魂職はまだわからないけど、

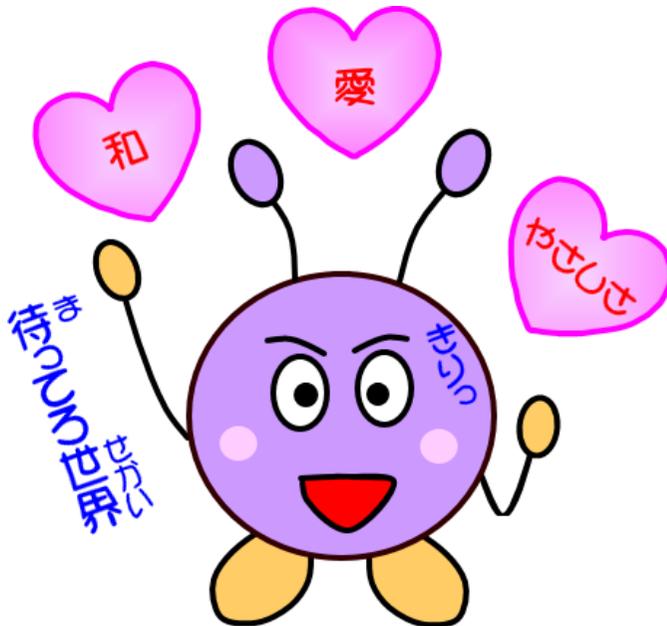
^{いま}今、やりたいことは、はっきりとわかった！」

「^{つつ こ あい}すべてを包み込む愛。」

「^{せかいじゅう ひる へいわ こころ}世界中に広がる平和の心。」

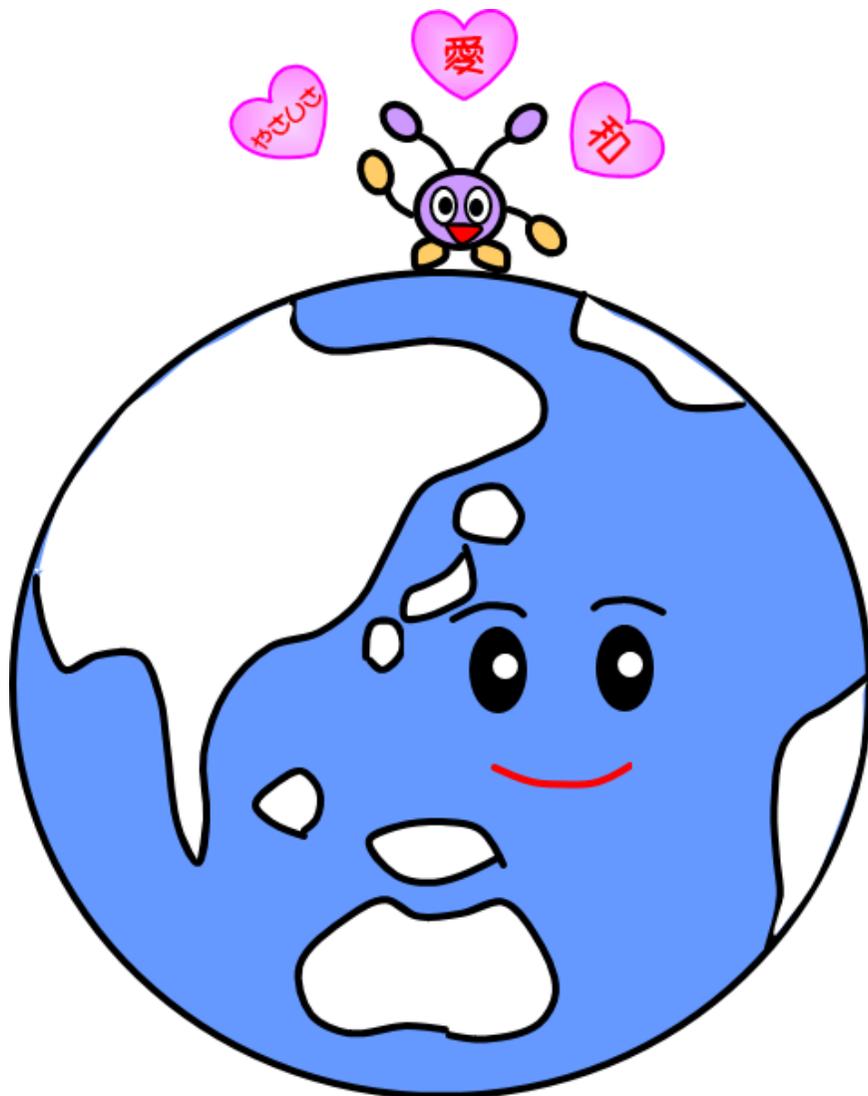
「^{い ぶつ たい}すべての生き物に対するやさしさ。」

「^{こころ せかいじゅう つた}この心 を世界中に伝えるんだ！」



ういるすん^{ことば き}の言葉を聞いて

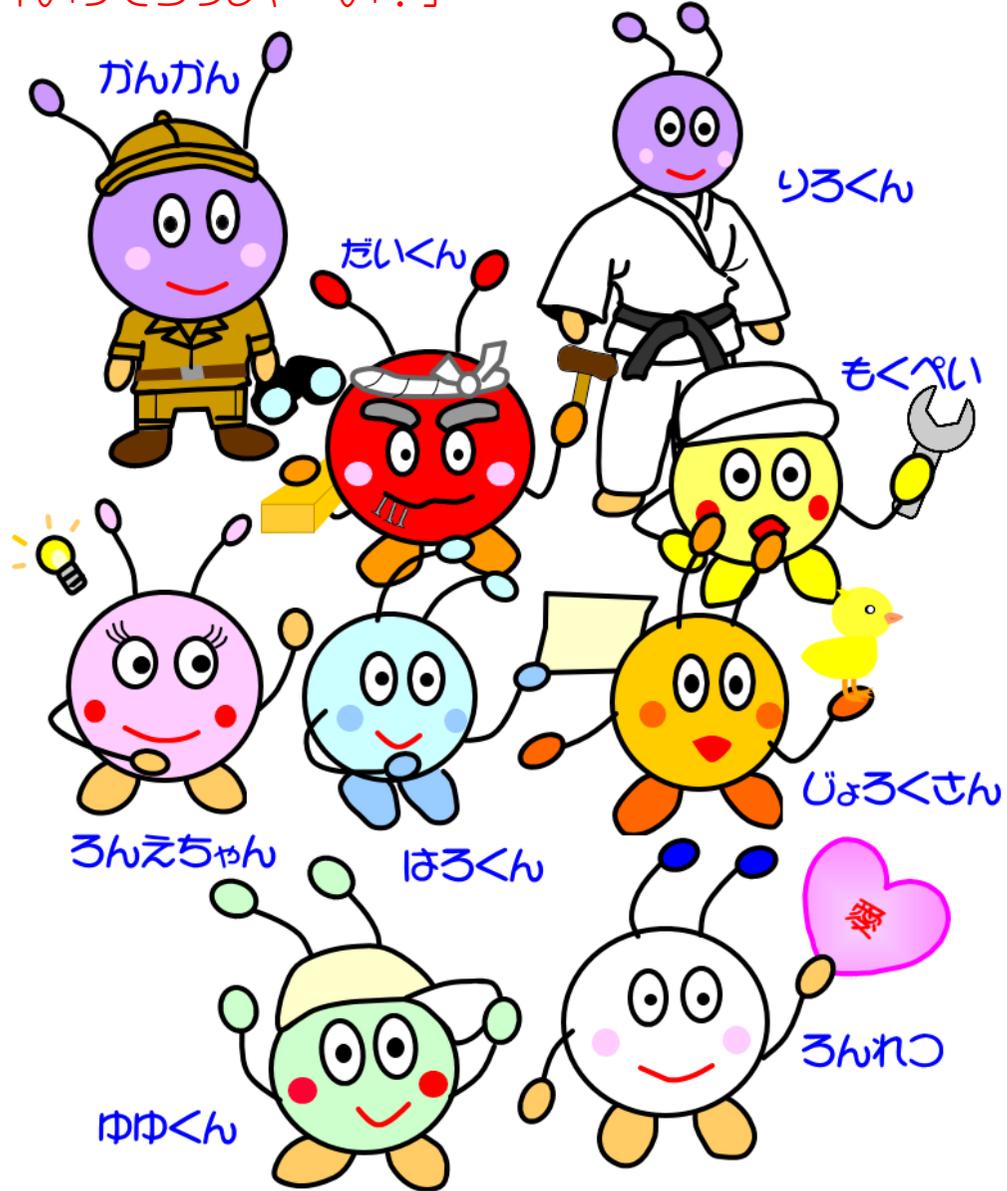
わたしたちが^{す ちきゅう ほほえ}住む地球も微笑みました。



しゅっぱつ ひ
出発の日。

まち
街のみんながういるすんを見送^{みおく}ってくれます。

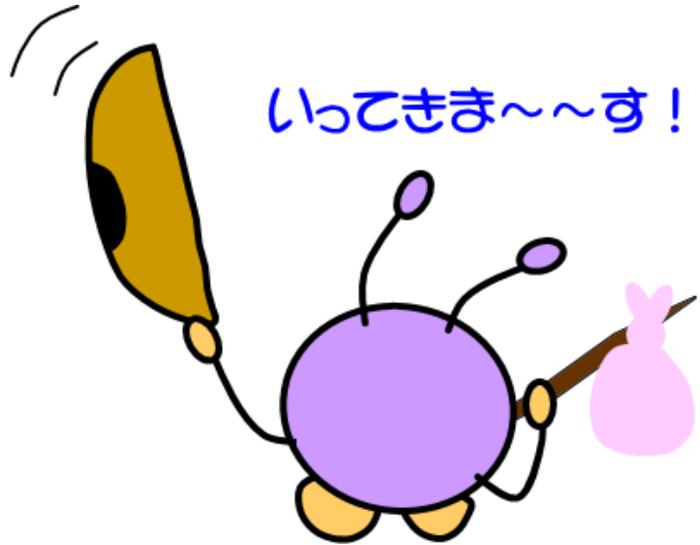
「いってらっしゃ〜い！」



ういるすんはみんなに^{おお}大きく^て手を^ふ振って

「いってきま～す！」

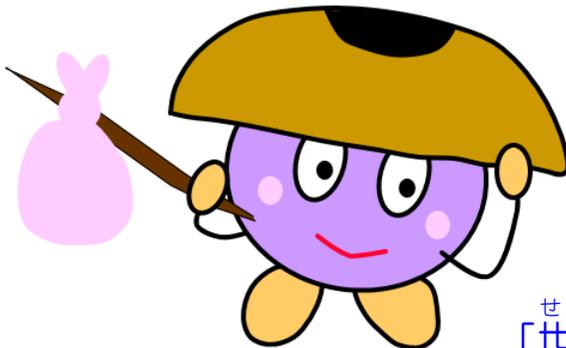
と^{げんき}元気よく^{こた}答えました。



いってきま～す！

ういるすんの^{こんしょく}魂職^{さが}を探^{たび}す旅は、

まだまだ^{つづ}続くようです。



「^{せかいへん}世界編」へ つづく…

本を読まれる方へ。

今の子どもたちが大きくなったとき、わたしたち大人には想像がつかないほど世の中は変化しています。

子どもたちはすでにそのことを知っています。

☆絵本の中で伝えたいこと。

○本来、人は世の中がもっと良くなること、みんながもっと幸せになることを望んでいます。

○今まで見えなかったものが見えるようになります。

○仕事のほとんどをロボットがするようになります。

=人は自分にしか出来ないことをするようになります。(これが魂職です。)

○機械には真似できない人のエネルギーがあります。

- 「好き」をやり続けることで魂職に近づきます。
 - 上下関係はなくなり、輪(和)を作ります。
(一方向性社会から全方向性社会へ変わります。)
 - すべての生き物と共生し進可していきます。
 - 「お金」から「心(魂)」が中心の世界に変わります。
- ☆「愛」と「やさしさ」で溢れる「平和」な世界に。

2017年2月 koji-kin

※この絵本の中に出てくる魂職の名前はあるお話が元になっています。